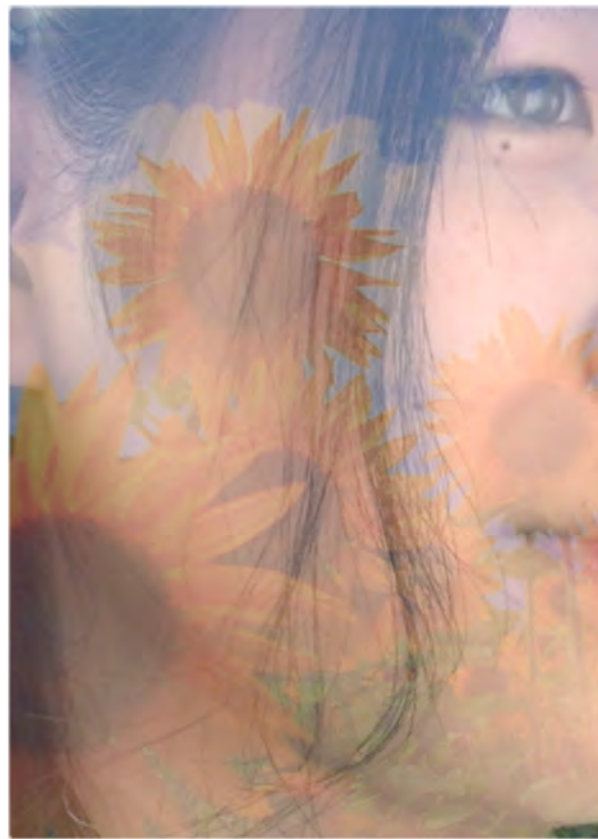


ONE HEART  
Qu'est-ce que je peux faire pour l'avenir?NEWSLETTER  
UNESCO  
ASSOCIATED  
SCHOOL  
& ESD

VOL. 12



## ESD CLUB

vol. 12 ESD部 始動

## WORLD IN YOUR EYES

ESD (持続可能な開発のための教育)は、より良い未来を継続的に創造していくために、何をすべきか考え、身近なところから行動していくこと、そして将来を担う人物を育成することです。本校は2008年にESDの推進拠点であるユネスコスクールに加盟し、様々な観点からESDを行ってきました。そして2015年4月にはESD部が始動し、更なるESDの拡大が望まれています。

身近な問題は世界の問題につながってまいります。そのためESDを考える際に自分のいる地域の問題を考えることは大切なことです。ESD部では本校の位置する日進市の課題とその解決に向けて行動することを目的に発足しました。また、ESDの認知度も依然として低いため、ESDの推進活動も積極的に行っています。

aujourd'hui pour demain

ESD部は地域でのESD活動とESDの推進活動に軸を置いています。部活ができる以前から日進市をより住みやすく魅力的な街にしていくにはどのようなことが必要かを考えながら活動してきました。そして、観光という視点に着目し、観光マップの作成や市のPRに取りかかりました。

今年度は日進市と連携して活動させていただく機会がありました。12月には、日子連子ども大会内で行われた「子ども省エネ教室」にて環境に関する小学生対象のゲームのファシリテーターを務めさせていただき、小学生と環境問題について考えました。

また、もう少し広い意味での地域では、ユネスコスクールである長久手市立東小学校の学習発表会にお招きいただき、交流することができました。そこでは、中部大学国際関係学部の先生方と民族楽器のセッションを行いました。小学生の発表からも刺激を受ける部分が多く、今後もさらに連携を深めたいと思います。



## CHUBU UNIV. ESD FORUM

8月5日に中部大学にて開催された第1回中部大学中・高・大連携フォーラムでESD部は発表を行いました。それについてのインタビューを掲載します。

-発表ではどのようなことを意識したのでしょうか。  
まずは第一高校での活動をより広く知ってもらえるように心がけました。

-発表内容はどのような感じだったのでしょうか。  
本校の全体の活動概要とESD部が発足した理由、そして現在構想中の地域プロジェクトについて発表しました。

-地域活動についてはどのようなことを考えているのでしょうか。  
持続可能な観光業というアプローチで発表しました。それを考える上で、人と社会・自然環境との関わりに注意しなければならないと考えています。地域の発展を考える上では、自然との調和が必要だと思います。だから、体験型グリーンツーリズムなどが日進には最適だと考えました。

-今後の展望について教えてください。  
1年目ということもあり、手探りの状態で活動をここまで進めてきたので、まずは現在行っている活動を軌道に乗せたいと思っています。それから、姉妹都市である木祖村への訪問、環境という視点を考慮して里山の植物生態系調査、過去のデータとそれを比較し、変化や未来への予測を試みたいと思います。また、地域の農家と連携した商品開発などにも興味があります。